

2022年4月28日

報道関係各位

北の大地の水族館
館長 山内創

真の幻 北海道の春を告げる赤いイトウ 婚姻色の天然イトウ特別展示のお知らせ

北の大地の水族館では、北海道の春を告げる「赤いイトウ」の展示を4月29日（金）よりイトウの大水槽にて開始します。1年ぶりの美しいイトウの姿をぜひご覧ください。展示は5月9日（月）までを予定しております。

幻の魚とも称されるイトウは、日本では北海道のみに生息する日本最大級の淡水魚（※1）ですが、日本産のサケの仲間では唯一春に繁殖期を迎え、オスは婚姻色（※2）により頭から後ろが真っ赤に染まります。

婚姻色で赤くなったイトウは雪解けとともに上流へと移動して繁殖を行いますが、その姿は普通険しい山中の細流でしか見られず、人目に触れることはめったにありません。また、水族館などの飼育下では婚姻色がほぼ出ません（※3）。まさしく極めつけの幻の魚とっていいでしょう。

北の大地の水族館での展示には、朱鞠内湖淡水漁業協同組合のご協力により、自然環境に限りなく近い状態で作られた増殖用親魚池（※4）で飼育されている天然イトウの中でも、特に婚姻色がよく発現した個体をお借りしています。

赤いイトウ



通常のイトウ



昨年の展示では訪れたお客様方に大好評で知らずに訪れたお客様には大きなサプライズとなり、一方で赤いイトウを一目見たいと遠方から来館された方も少なくなく、遠くは東京からもお越しいただきました。

館長の山内は北海道に来てこの赤いイトウを自然界で見て大いに感動し毎年観察に行っており、なんとか水族館でこの感動を伝えられないかと考え実現したのが今の方式です。

お問い合わせ 北の大地の水族館 担当/山内創

TEL:0157-45-2223 担当直通:080-8291-9439

PRESS RELEASE

※1.イトウ：体長1.5m以上に成長する日本最大級の淡水魚。日本では現在北海道のみに生息し、幻の魚とも呼ばれ環境省のレッドリストでは絶滅危惧IB類に選定されている。日本原産のサケ科魚類の中で唯一春に繁殖期を迎える。尚、北の大地の水族館で通常展示しているイトウは、全国の水族館の中でも特別に大きく育つことで有名。

※2.婚姻色：繁殖期に特有の体色のこと。イトウはオスに顕著に現れ、体の頭部より後ろが真っ赤に染まる。

※3.同内各水族館に確認したところ特殊な事例を除いて赤くなることは無いとの回答でした。飼育下で婚姻色が発現しない理由は解明されていません。

※4.漁業権を取得している場合その魚種について増殖義務があり、漁協が湖内で捕獲した成魚を増殖目的で飼育している池。河川水を用いた素掘りの池のため自然環境に近い。

お問い合わせ 北の大地の水族館 担当/山内創

[TEL:0157-45-2223](tel:0157-45-2223) 担当直通:080-8291-9439